

## 中国で話題「無痛登山」って？

JSC 貿易部ニュース



お世話になります。毎号当メルマガをご覧ください誠にありがとうございます。

中国の大型連休「国慶節」にネットで話題になっていたお話をひとつ紹介します。

上海から近い浙江省の景勝地で全く疲れない「無痛登山」が実現！とネットで話題になっていました。とあるネットユーザーが投稿した動画には、両側からミストが噴射される長いエスカレーターが…

観光客と思しき若者グループがエスカレーターに乗って、美しい景色を楽しみながら頂上を目指す姿が映し出されています。

動画を見た人からは、「歩いて登らずに、景色を余すところなく楽しめる！」とエスカレーター導入を称賛するコメントが寄せられる一方で、「こんな山登り、楽しいの？」と否定的なコメントも寄せられているみたいです。

## 登山の不便さを解決するために設置？

日本では山岳コースのゴルフ場などで、ホール間のジョイントに設置されているやつですね。そう言えば、外国人ゴルファーが日本のゴルフ場でエスカレーターを絶賛している動画を見たことがあります。でも、ここまで一気通貫の屋外エスカレーターはさすがです！



この山、標高はわずか 350 メートルほどとのことですが、登頂するには蛇行した山道を延々と 3 キロも登る必要があって、高齢者や体の弱い人にとっては決して楽な道のりとは言えないそうです。

エスカレーターが設置されたことで、観光客が頂上まで登るのに必要な時間は 50 分から 10 分に短縮。登山客？の増加には寄与しているみたいです。

県の観光開発会社の担当者によると、「当初はロープウェイの建設も検討されたが、輸送能力に限界があるため、より多くの人々が利用でき、景勝地の運営ニーズを満たすことができるエスカレーターを設置することになった」とのこと。

約 1000 万元（約 2 億円）を投じて、「無痛登山」を可能にするエスカレーターを設置したそうです。

また、同じ浙江省にある「南天梯」と呼ばれるエスカレーターは、2020 年の国慶節から運用が始まっていて、上り下り計 4 本が設置されているそうです。1 本のエスカレーターで 1 時間に 3600 人を輸送できると紹介されています。

旅行会社の関係者によると、「エスカレーターの全長は 104 メートル。山の麓から頂上までわずか 4 分。ここは国家 5A 級（最高ランク）の景勝地で、標高は最高で約 900 メートルあるので徒歩で各スポットを回ろうとすると、ほとんどの観光客は疲れ切ってしまう」



とのこと。ここにはロープウェイもあるそうですが、高齢者や子供にも楽に登頂してもらい、若者にもショッピングをするような気軽な感覚で登山してもらいたいということでエスカレーターを設置したそうです。

しかも、囲いが無いので大自然に触れ合う楽しみを妨げることもないということだそうです。さすがが中国、考え方が合理的というかなんというか。

こういった成功事例もあってか、近年、中国では多くの景勝地でエスカレーター設置が検討されているそうです。でも、さすがの中国でも実現は容易ではないそう。

「山の地形がエスカレーター設置に適しているか？」もそうですが、当然ながら「エスカレーター設置のコストが景勝地の営業に見合っているか？」が重要です。

エスカレーターの傾斜角度は通常 30 度以下だそうです。傾斜角度が大きすぎたり、高度が高すぎたりすると、観光客にとっては逆に危険。それ以外にも、雨ざらしの屋外エスカレーターで利用者も多いとなると、メンテナンスも気を使います。定期的な点検も欠かせません。

先に紹介した観光地は、比較的平坦で、山の下に広がる湖が長江流域の景勝地としても有名なことから、エスカレーターの設置が上手くいった事例だそうです。

エスカレーターのせいで登山できなくなったというわけではないですし、誰もが美しい景色を手軽に楽しめるようになったと言えばそうなのですが、個人的には中国らしい合理的で大胆な考え方だなと思った次第です。皆さんはどうお感じになりましたか？

## 今月の石種紹介「カンボジア 654」

色々な問屋さん、商社さんからもお聞きになっていると思います。

最近話題の「カンボジア 654」のご紹介です。会社によっては、「青山 654」なんて名前で呼ばれていたりもします。

最近中国に原石が入荷し始めた石ですが、弊社でもコロナ以前、カンボジアに調査に赴いた際に見ている石です。当時は現地の建材用としてスラブサイズで切り出され、現地の工場で板材などに加工されていました。ここ数年で丁場の数も増え、使える石が出始めたようなのでご紹介させていただきます。

現状、中国の工場各社に入っている原石は、丁場や仕入ルートの違いで種類が色々あり、ご覧のように色合いや目合いに大きな違いがあります。私たち貿易部の方では各工場の原石現品やカットサンプルを確認、原石の在庫量や品質、一定数量下での目合い、色合いの揃い具合など、様々な角度からチェックした結果、一番安定していると判断しているおススメは「②番」の石です。

「どこの工場の石?」「いくら?」といった詳しい情報は、是非、営業担当を通じてお問い合わせ下さい。

カンボジアの石と言えば、「OW-1」が“白のお手頃価格の石”として、全国の石材店様にかなり使用され始めましたが、それに続く、カンボジア第二弾です!

中国の丁場閉鎖が止まらない現状から考えると、有り難い石です。大事に育てていきたいと思っておりますので、お問い合わせよろしくお願ひします。



それでは今月も最後までご覧いただきありがとうございました。  
来月も宜しくお願ひ致します!

2023/11/01